

タフライト®

品種表 P.249



製品のご採用にあたっては、「ガラスを安全に、大切にお使いいただくために」、各製品ごとの「設計上のご注意」、「施工上のご注意」等を十分にご理解のうえ、製品の選定、施工法をご検討ください。

タフライトは板ガラスを約700℃まで加熱した後、ガラス表面に空気を吹きつけ、均一に急冷し表面に圧縮層を持たせた強化ガラスです。

●特長

1 強度

タフライトは風圧、水圧などの外力に対し、同じ厚さの一般の板ガラスに比べ3~5倍の静的強度を持つ強化ガラスです。

2 安全性

万一破損しても破片は鈍角の細かい粒状になります。一般の板ガラスのような鋭い破片が生じることがありませんから、危険性が大幅に減少します。

3 耐熱性

温度の急激な変化に対し、一般の板ガラスに比べ数倍の耐熱性を有します。

●用途

- 1 階段まわりのフェンスやエスカレーターの腰板。
- 2 学校の窓・扉、浴室の間仕切など安全性が要求される場所。
- 3 ガラステーブル、ショーケース、間仕切などのインテリアおよび家具。
- 4 自動車、車両、船舶の窓。

●破損状況の比較



タフライト



フロート板ガラス

●品種表

品 種	素板ガラス	呼び厚さ (ミリ)	最大寸法(mm)	最小寸法(mm)
タフライト	フロート板ガラス	4	2,200×1,200	300×200
		5	2,600×1,800	
		6	3,600×2,000	
		8	4,500×2,400	
		10	6,000×2,800	
		12		
		15		
		19		

※熱線吸収板ガラス(グリーンペーン)、熱線反射ガラス(レフライト)、高性能熱線反射ガラス(レフシャイン)を素板ガラスとした最大寸法は製品一覧P.249をご参照ください。

※上記以外の仕様、および使用上の条件や制限についてはお問い合わせください。

74 **ご使用にあたっては、耐風圧強度、熱割れなどをご検討のうえ、ガラス品種・呼び厚さ・面積を選定ください。**

※開口部の設計にあたってはガラス建材総合カタログ「技術資料編」の7-4-5.改訂版ガラスを用いた開口部の安全設計指針をご参照ください。



●アサヒビル吾妻橋ビル(東京)



●深川市立総合病院(北海道)
設計:山下設計・中原建築設計・大洋建築設備研究所JV

真空ガラス
複層ガラス
学校用ガラス
防火ガラス
防犯ガラス
強化・倍強度
合わせガラス
特殊機能ガラス
高透過ガラス
熱線・熱線反射
板ガラス
装飾ガラス
鏡・防音
板ガラス施工
音響・防音
設計・施工
ガラスの性能・熱性能
製品一覧